

主な学校感染症一覧

病名	おもな症状	出席停止期間
新型コロナウイルス感染症	発熱、喉の痛み、咳、倦怠感	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで
インフルエンザ	高熱(39℃～40℃)、関節や筋肉の痛み、全身倦怠感、咳・のどの痛み	発病後5日、かつ解熱後2日を経過するまで (発症日を0日と数える)
百日咳	コンコンという激しく短い咳が続く	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで
麻しん(はしか)	発熱 鼻汁、目やに、発疹	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発熱 耳下腺・舌下腺・頸下腺の腫れと痛み	耳下腺、頸下腺、舌下腺の腫脹が発現した後5日間を経過し、かつ全身状態が良好となるまで
風しん	38℃前後の発熱、発疹リンパの腫れ	発疹が消失するまで
水痘(みずぼうそう)	発疹→水泡→かさぶた	すべての発疹が痂皮化する(かさぶたになる)まで
咽頭結膜熱(プール熱)	38℃～40℃の発熱、のどの痛み、目やに、結膜の充血	主要症状が消失した後2日を経過するまで
結核	2週間以上続く咳、痰(たん)、微熱	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	頸部硬直、高熱、光過敏症、頭痛、嘔吐	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
流行性角結膜炎	充血、目やに、瞳孔に点状の濁り	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)	激しい腹痛、水溶性の下痢、血便	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
溶連菌感染症	発熱(39℃前後)	適正な抗菌剤治療開始後24時間経て、全身症状がよければ登校可能
ヘルパンギーナ	発熱(38℃～39℃)、のどの奥に白く小さな水疱	発熱、口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、全身症状が改善すれば登校可能
マイコプラズマ感染症	発熱 乾いた激しい咳が続く	急性期は出席停止、全身症状が良ければ登校可能
感染性胃腸炎	嘔吐、下痢	下痢・嘔吐症状が軽快し、全身症状が改善されれば登校可能